



デジタル・シティズンシップ教育と子どもたち

今回のキーワードは「自律」 「禁止」から「子ども主体で考える時代」へ

「いつまで YouTube みるの!」、「タブレットの持ち帰りができるようになってから、毎日、就寝時間が遅くなった」……

学校で 1 人 1 台環境が日常となった今、学校と家庭の両方で子どもたちのタブレット端末の利用が増えました。本校でも持ち帰りが可能となって 1 か月が経過しました。それに伴い、ICT の良い面、悪い面の両方を見聞きする機会が増えてきました。デジタル社会の担い手である子どもたちを **ICT のよき使い手**として導いていくためには……

子どもたちの自律を育てる
デジタル・シティズンシップ

■ GIGA スクールを境に変わり始めた ICT に対する意識

デジタル・シティズンシップ教育の大きな目標は、「**デジタルの世界を子どもたち自身の力で歩むことができるように支援する教育のこと**」であり、こうした教育が求められる背景には、GIGA スクールの前と後で、学校の中での端末やネットの扱い方が大きく変わってきたことが一因にあります。GIGA スクール前は、学校で端末を活用するといっても、コンピュータ教室でしか使えなかったり、授業で教師の指示に基づいて使ったりと教具として限定的な活用に留まっていた。一方で、子どもたちの生活はスマホなどの普及によってネットや LINE の利用が進み、ICT は身近なツールへと変化。学校と家庭のデジタル環境は「分断」していました。

ところが GIGA スクール後は、1 人 1 台環境になり、学校と家庭で分断されていた**デジタル環境が「統合」へシフト**している。**個別最適な学び**が可能になり、学校の端末を家庭に持ち帰って学習する機会も生まれました。子どもたちが **ICT を“文房具として使う”**という考え方も広がりつつあり、教師も保護者も以前のような「ネットは危険」「タブレット端末を使っている = 遊んでいる」といった**見方を変えていく必要**があります。

デジタル・シティズンシップ教育では『**自律**』が大きなキーワードとなります。“ネット利用は 2 時間まで”といった一律のルールや規制で縛ることをせず、**一人ひとりの使い方が異なることを前提に ICT 活用を進めていき、日常的な利用を進める中で、自律と課題解決をサポートすることが大切**となります。

デジタル・シティズンシップ教育を進める際は、子どもたちそれぞれの発達段階を考慮することも大切であり、文房具だからといって、いきなり自由に使わせてもトラブルを招いてしまいます。ですから、デジタル・シティズンシップは**子どもだけでなく大人が学ぶことも必要**となります。例えば保護者のみなさんにも、学校の活用レベルを把握していただき、学校や教員が抱える懸念や不安に共感していただくことで、共通認識が生まれ、学校と保護者のみなさんの**良い対話関係**が築けるのではないのでしょうか。

■ デジタル・シティズンシップを学ぶ場に必要なのは

デジタル・シティズンシップ教育では、デジタルだけを取り上げるのではなく、アナログも含めたメディア全体を取りあげ、メリットや使い方を考えていき、その中で、子どもたちは端末やネットの使い方は、使う人や家庭によって考え方が異なることに気づき、自分の生活や人間関係の中で良い付き合い方を身につけていきます。そうしたアプローチを大事にしているのがデジタル・シティズンシップ教育です。

子どもたちがデジタル・シティズンシップを学ぶ場には、もっと大人の存在が必要であり、教師や保護者が多くいれば、子どもたちの不適切なコメントや行為を見守ることも可能で、学校や保護者、大人がもっと参画していくことが大切です。

1 人 1 台環境をきっかけに学校現場や教育者の注目が高まるデジタル・シティズンシップ教育。**管理や規制だけでは、子どもたちはデジタルの良き使い手にはなりません。**時間はかかるかもしれませんが、大人も子どもと**対話をしながら、自律を促し接していくことの大切さ**は、デジタルもアナログも何ら変わりはないのかもしれないね。

情報モラル	デジタルシティズンシップ
他律的	自律的
制限することで安全を確保 現状での最適解	自ら判断し、安全に行動 変化に対応

ReseEd

「自転車交通安全モデル校」



9月28日(水)朝日中学校がこの秋の全国交通安全週間に、「自転車交通安全モデル校」として指定を受けることになりました。当日は、子どもたちの登校時間に合わせて、北警察署や安全協会のみなさんが、子どもたちの登校の見守りや、自転車の安全点検のためにお越しいただきました。車輪に新しい反射鏡を付けてもらった人も何人かみられました。

また、この様子をNHKや中日新聞社、CCnetの方が取材に見えていたことや、生徒会の朝のあいさつ運動等々もあり、この日は賑やかな登校風景となりました。

10月11日(火)には北警察の方にお世話になり、全校生徒を対象とした交通安全教室も実施し、今後も様々な活動を通じて、子どもたちの交通安全への意識を高めていきたいと思えます。

◆すでに、この様子は以下の日時に、ニュース放送や記事で取り扱われましたが、CCnetさんで以下の期日に放送を予定していただいておりますので、皆さまぜひご覧になってください。



10月17日～23日 ウィークリーほくせい(25分番組)

7:00/8:00/12:00/14:35/17:00/19:30/22:00

明日14日(金)から三四地区新人大会です

各部活動の 対戦日程 予定時間 試合会場等

軟式野球	14日(金) 対楠中 8:45～	霞ヶ浦第2球場
バスケ男子	14日(金) 対西朝明中 10:50～	四日市メリノール学院中学校
バスケ女子	14日(金) 対南中と桜中の勝者 12:00～	朝日中学校
サッカー	14日(金) 対川越中 10:50～	四日市市中央フットボール場
卓球男子	14日(金) 対西朝明中と八風中の勝者 9:10～	・団体戦後個人戦 霞ヶ浦体育館
卓球女子	15日(土) 対楠中と内部中の勝者 9:10～	・団体戦終了後個人戦 霞ヶ浦体育館
ソフトテニス	14日(金) 対中部中 9:30～	・団体戦後個人戦開始 四日市ドーム
	15日(土) 個人戦(勝ち残り) 9:00～	四日市ドーム
バレー男子	14日(金) 対菰野中 10:00～	四日市市楠体育館
バレー女子	14日(金) 対常磐中 10:00～	南中学校
陸上競技	14日(金) 9:00～	四日市市中央陸上競技場



- ※ 観戦にあたっては、中体連から出されている観覧にあたっての人数制限等の注意事項をご確認ください。
- ※ 時間等は多少の変更もありますのでご了承ください。
- ※ 雨天の場合、外競技の実施については、各部の顧問からの連絡をご確認ください。
- ※ 各会場に関する諸注意等、詳しくは各部活動で配布される要項や組み合わせをご覧ください。

